

強度区分

サイクルラックは、自転車の荷重を支えるとともに、人による力、風圧力、地震力に対しても十分な強度を有さなければならない。

また、自転車の出し入れの際、サイクルラックのたわみが大きすぎると利用者に不安感を与えるため、サイクルラックは一定の剛性を備えていなければならない。

強度区分

ラックが受ける風圧力、地震力は設置場所によって異なる。本基準では、設置場所により次の4種の強度区分を設けることとした。

| 強度区分 | 想定設置場所 | 自然外力（重力以外） |
|------|--------------|------------|
| I | 屋内（地下階～1階） | 地震力 |
| II | 屋内（地下階～3階） | 地震力 |
| III | 屋外（地面） | 地震力、風圧力 |
| IV | 屋外（地上10m高まで） | 地震力、風圧力 |

強度区分

なお、強度区分I、IIで認定した製品を半屋外的な空間で使用することを禁止しないが、この場合は十分な強度をもった防風壁等を周囲に有効に設ける等の対策を講じることとする。